

令和 2 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称	那須温泉ファミリースキー場
2	指定管理者 名称	那須未来株式会社 代表取締役 薄井 正明
	住所	那須町大字高久乙 5 9 3 番地 8
3	指定期間	平成 3 1 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 3 1 日（3 年間）
4	施設所管課	観光商工課
5	履行状況（町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等）	協定書、仕様書に基づく年度運営計画書に基づき適切に履行されていた。
6	利用状況、運営状況	<p>指定管理（2 期目）2 年目の今シーズンは、積雪にも恵まれ営業開始日の 1 2 月 2 5 日から営業することが出来たが、3 月に入り気温の上昇や降雨による雪解けが進み、3 月 1 4 日で営業終了となった。年末年始は雪に恵まれ、たくさんの家族連れの来場を期待していたが、新型コロナウイルス感染症予防緊急事態宣言の発出により外出を控える動きがみられ、シーズンを通して来場者数は例年の半分の数字となった。</p> <p><b>【利用状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○リフト券等売上高 7,928,340 円（平成 30 年度 14,280,140 円 55.5%）</li> <li>○入場者数 8,480 人（平成 30 年度 15,180 人 55.9%）</li> <li>○リフト輸送人員 76,979 人（平成 30 年度 103,595 人 74.3%）</li> </ul> <p><b>【運営状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○営業期間 令和 2 年 12 月 25 日（金）～令和 3 年 3 月 21 日（日） 87 日間</li> <li>○実営業日数 75 日（平成 30 年度 63 日）</li> <li>○負傷者 0 人（平成 30 年度 8 人）</li> </ul> <p>※令和元年度は雪不足により営業実績が極端に少ないため、平成 30 年度との比較になります。</p>
7	町民（利用者）からの意見・要望・事案や利用者の満足度調査の評価	<p>「スキーヤーオンリー」のスキー場をセールスポイントに「初級者向けのファミリーで楽しめるスキー場」として定着してきており、リピーターも増加していた。また、大丸駐車場からの無料送迎を引き続き行い、利用者からは非常に好評であった。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響を受け利用者が激減し、特に団体客に関しては、小学校や子ども育成会の行事がキャンセルとなり、スキー場恒例のキッズイベントはすべて中止となった。</p>
8	指定管理者の収支状況、維持管理状況の評価	<p>令和 2 年度の収支は、収入総額は 26,137 千円（内委託料 16,500 千円、リフト使用料 7,928 千円ほか）に対し、支出総額は 25,792 千円で、345 千円の黒字となっている。</p> <p>しかし、当スキー場には人口降雪設備がないため、自然降雪の影響を大きく受けることが、運営を不確定なものにしている。</p>
9	総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など）	<p>今シーズンは、コロナ禍の中での運営となり、感染対策への対応に不安もあったが、利用者や従業員のウイルス感染もなく、更には、輸送の安全にも十分な意識を持って運営し、事故もなく無事シーズンを終了している。</p> <p>また、ライブカメラによるリアルタイムなスキー場の映像や、フェイスブックによる情報発信を引き続き行い、利用者のサービス向上に努めていた。</p>
10	評価ランク	: B
	A : 非常に良好な施設の運営状況であった	D : やや課題のある施設の運営状況であった
	B : 良好な施設の運営状況であった	E : 課題のある施設の運営状況であった
	C : 普通の施設の運営状況であった	

令和 2 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称	那須スイミングドーム・余笹川ふれあい公園																											
2	指定管理者 名称	環境整備株式会社 代表取締役 辻中 昭彦																											
	住所	栃木県宇都宮市岩曾町1333																											
3	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）																											
4	施設所管課	那須町教育委員会 生涯学習課																											
5	履行状況	協定書、仕様書に基づき、年度ごとに事業計画を策定しており、事業実施及び施設管理等管理運営全般において、事業計画どおりに履行されていた。																											
6	利用状況、運営状況	<p>○利用状況 ※数値と前年比、当年度の町内と町外の利用者の割合、利用者の年齢層 令和2年度のスイミングドームの利用者は、30,136人で前年度より12,926人の減となった。</p> <p>町内外の内訳としては、町内者が53.8%、町外者が46.2%で、年齢層の内訳としては、大人（18歳以上）62.4%、高校生0.5%、小・中学生28.8%、幼児8.3%であった。</p> <p>利用者数の減少の要因は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う国の緊急事態宣言等により、令和2年4月13日から5月31日の49日間、令和3年1月18日から2月21日の35日間、施設を臨時休館としたことによるものである。</p> <p>また、余笹川ふれあい公園の団体等利用者は、グラウンドゴルフの利用者が10,123人で前年度より2,359人の減、その他の団体利用者が1,224人で前年度より63,015人の減となった。利用者数の減少の要因は、那須九尾まつりの中止等、イベント開催が中止になったことによるものである。</p> <p>○運営状況 ※当年度の営業期間と営業日数、職員体制、事故や災害等の緊急時の対策・対応、個人情報管理 管理運営期間：令和2年4月1日から令和3年3月31日まで 営業日数：242日（当初計画営業日数313日） 臨時休館（4月13日～5月31日） 臨時休館（1月18日～2月7日） 臨時休館（2月8日～2月21日）</p> <table border="0"> <tr> <td>職員管理体制：</td> <td>総括管理責任者</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>運営責任者</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スイミングドーム責任者</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>〃 副責任者</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>〃 アシスタント</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プール監視員</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>送迎運転手</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>受付</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>清掃</td> <td>1人</td> </tr> </table> <p>事故や災害時等の緊急時の対策・対応、個人情報管理 緊急時は環境整備(株)取締役栃木支店長が本部長となり「指定管理者施設対策本部」を設置し会社全体で対応することとしており、不測の事態が生じたときは、利用者の人命を優先とする対応の周知徹底を行い、個人情報の保護及び管理については、関係法令を遵守することはもちろんのこと、それらの取り扱いにあつては、安全な場所に保管するなど対策を講じている。</p>	職員管理体制：	総括管理責任者	1人		運営責任者	1人		スイミングドーム責任者	1人		〃 副責任者	1人		〃 アシスタント	1人		プール監視員	13人		送迎運転手	2人		受付	2人		清掃	1人
職員管理体制：	総括管理責任者	1人																											
	運営責任者	1人																											
	スイミングドーム責任者	1人																											
	〃 副責任者	1人																											
	〃 アシスタント	1人																											
	プール監視員	13人																											
	送迎運転手	2人																											
	受付	2人																											
	清掃	1人																											

なお、緊急事態への迅速な対応策やそれらの対応マニュアルとして「緊急連絡網」、「防災組織任務分担表」、「防災・防犯リスクシナリオ対応マニュアル」、「個人情報・取得個人情報の保護および管理」を作成し従業員への周知と、消防総合訓練、避難訓練、水上安全法研修等を実施していた。

#### 7 町民（利用者）からの意見・要望・事案や利用者の満足度調査の評価

- 苦情・要望の把握 ※苦情、要望がある場合、詳しく記す事
  - 当年度で発生した事案の有無 ※有の場合、詳しく記す事
  - 利用者の満足度(アンケートなど)について ※できれば割合や数値も表記する事
- 【アンケート】スイミングドーム利用者200名  
余笹川ふれあい公園 1名
- ①スタッフの対応について「良い80%、普通16%」という結果から、利用者からの満足度は高い。
  - ②施設及び設備面について「良い72%」「どちらともいえない14%」「改善が必要10%、悪い0%」という結果から、利用者の満足度は高いが、約1割の利用者から改善の必要性について意見があった。改善が必要等という意見は、設備等の経年劣化による更新を希望される意見が多かった。
  - ③清掃状況について「良い83%」「どちらともいえない10%」「改善が必要3%」「悪い2%」という結果から、利用者の満足度は高いが、設備等の経年劣化による汚れや、シャワールーム等の汚れ(カビ等)の指摘があったが、できる限りの清掃等を実施し改善に努めていた。
  - ④利用料金について「安い33%」「どちらでもない52%」「高い10%」という結果から、おおむね適正な料金設定であると考えられるが、高いという意見の中には、シニア料金を設けて欲しいという意見があった。
  - ⑤半年券について「現状で良い66%」「変更してほしい7%」「無回答22%」という結果から、おおむね適正な料金設定であると考えられるが、意見の中には、1年券・3か月券の設定、シニア料金の設定、料金の値下げという意見があった。
- ④・⑤については、今後、町と指定管理者で、今後の検討課題としていく。

#### 8 指定管理者の収支状況、維持管理状況の評価

- 収支状況 ※収入、支出ともに前年比も含めて記す事
- 令和2年度の収支について、収入総額は70,209千円(うち、委託料49,500千円、売上金20,709千円)の前年比△5,823千円に対し、支出総額は66,796千円の前年比△6,748千円で、3,413千円の黒字となった。主な要因としては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館としたことによる、利用料、水泳教室の収入減と、光熱水費、事業費(水泳教室等)の支出減である。
- 施設の保守・点検、施設の修繕等の維持管理状況
- ※当年度で掛かった費用がある場合、記す事
  - 令和2年度中の施設の保守点検作業は、以下に示す業務が適正に行われていた。
- 【スイミングドーム】
- 清掃管理(ごみ処理・定期清掃)
  - 機械警備
  - 自動制御機器保守点検
  - 冷温水機冷却塔保守点検
  - 合併処理浄化槽装置保守点検及び清掃
  - 電気設備特別点検
  - 温水ヒーター保守点検
  - 自家用電気工作物保安管理
  - 循環ろ過設備定期点検
  - 水質検査(水道水・プール水・ジャグジー)

自動券売機保守点検  
自動ドア保守点検  
消防設備保守点検  
スライダ一点検  
滅菌機保守点検  
館内害虫駆除消毒  
ろ過系統配管高圧水洗浄  
プール水槽薬品洗浄  
全自動血圧計点検  
貯水槽清掃点検  
空気環境測定検査  
空調機器清掃点検  
小規模水道事業に関する水質検査  
地下タンク漏洩検査  
腸内細菌検査  
貯湯槽清掃  
ばい煙測定  
ジャグジー清掃消毒ジャグジーヘアーキャッチャー清掃

【ふれあい公園】

清掃管理  
緑地管理  
合併処理浄化槽保守点検及び清掃  
遊具点検

○令和2年度中の修繕（30万円未満）は、以下の修繕（1,367,394円）が実施された。

【スイミングドーム】

240人槽残留塩素調整槽排水ポンプ交換工事  
240人槽攪拌ブローア－修繕工事  
2階網戸設置工事  
監視医務室エアコンリモコン修繕  
中央監視装置スマートスクリーンバッテリー交換  
温水ヘッタープールサイド床暖房配管水漏れ修理  
25mプール薬液タンク交換  
シャワールーム（女子）スピーカー修繕  
消火器2本交換  
従業員駐車場センサーライト（2灯）交換  
機械室階段・プールスライダー階段ノンステップ取換工事  
ジャグジー昇温用ラインポンプ交換工事  
ボイラー2号機油電磁弁交換工事

【ふれあい公園】

ハチの巣駆除（東小屋内部天井、公衆トイレ付近）  
街灯タイマー修繕  
街灯（2灯）修繕  
北側公衆トイレ女子用寒冷地仕様への変更工事及び障害者用トイレ水漏れ修繕工事

【参考：町が修繕を実施したもの】

冷温水発生機交換工事（R2繰越事業）  
浄化槽ブローアオーバーホール工事  
送風機交換工事  
1F網戸設置工事  
ふれあい公園南側公衆トイレ修繕工事

9 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など）

当施設は、平成8年開設以来24年が経過していることから施設の老朽化が進み、特に機械設備の全体的な修繕等の必要性が生じている状況であることから、段階的な修繕等を実施してきているところである。

今後も細心の点検・確認作業を実施していただき、不具合等の早期発見、早急な修繕等の対応に努めていただきたい。

また、施設利用者の安全第一を最優先とした管理運営の徹底を図っていただくとともに、新型コロナウイルス感染症対策も引き続き対応し、従業員の健康管理も含め、感染症予防対策に取り組んでいただきたい。

10 評価ランク : C

A : 非常に良好な施設の運営状況であった      D : やや課題のある施設の運営状況であった

B : 良好な施設の運営状況であった              E : 課題のある施設の運営状況であった

C : 普通の施設の運営状況であった

令和 2 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称 那須町立図書館
2	指定管理者 名称 株式会社 図書館流通センター 代表取締役 石井 昭 住所 東京都文京区大塚三丁目1番1号
3	指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）
4	施設所管課 那須町教育委員会 生涯学習課
5	履行状況（町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等） ・協定書、仕様書等にそって、業務は概ね予定どおり履行されている。
6	利用状況、運営状況 ○利用状況 ※数値と前年比、当年度の町内と町外の利用者の割合、利用者の年齢層 ・入館者数：34,755人（前年比▲21,912人） ・貸出者数：13,390人（前年比▲2,769人） うち町内者：11,097人(82.9%) 貸出者の年齢層：18歳以下598人(4.5%)、19～59歳1,909人(14.3%)、 60歳以上3,951(29.5%)、その他(団体貸出ほか)6,932人(51.8%) 【1日当たりの平均】 ・入館者数：132.1人（前年比▲62.0人） ・貸出人数：50.9人（前年比▲4.4人） ○運営状況 ※当年度の営業期間と営業日数、職員体制、事故や災害等の緊急時の対策・対応、個人情報管理 ・開館日数：263日（前年比▲29日） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため次の期間を臨時休館及び時間短縮とした。 ・令和2年4月14日～5月24日まで ただし5月19日～24日はインターネット等での予約資料のみ図書館入口で貸し出しを行い、返却はブックポストにて対応。 ・令和2年5月26日から6月30日まで開館時間を9時から17時に短縮して開館 ・職員体制：7人（うち4人司書） ・緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を整備している。 ・個人情報について、適切に管理及び処理している。
7	町民（利用者）からの意見・要望・事案や利用者の満足度調査の評価 ○苦情・要望の把握 ※苦情、要望がある場合、詳しく記す事 ・エレベーターの設置 ・全てのトイレの洋式化及び障害者用トイレの設置 ・図書の充実（大活字本や成人向け紙芝居の蔵書数増など） ○当年度で発生した事案の有無 ※有の場合、詳しく記す事 ・特になし ○利用者の満足度(アンケートなど)について ※できれば割合や数値も表記する事 ・アンケート調査によると、図書館内の図書整理状況、図書館の日数・開館時間、予約サービス、スタッフ対応、館内の清潔さについて昨年同様概ね満足されている状況である。 【アンケート結果】 ・開館日数、時間の満足度：満足65.1%、大体満足22.5%、普通12.4%、やや不満0.0%、 不満0.0% ・書架の整理：満足38.9%、大体満足38.9%、普通18.3%、やや不満3.9%、不満0.0%

- ・予約サービス：満足 45.4%、大体満足 24.3%、普通 27.6%、やや不満 2.7%、不満 0.0%
- ・スタッフ対応：満足 65.1%、大体満足 25.2%、普通 9.7%、やや不満 0.0%、不満 0.0%
- ・館内の清潔さ：満足 51.5%、大体満足 27.5%、普通 18.1%、やや不満 2.9%、不満 0.0%

#### 8 指定管理者の収支状況、維持管理状況の評価

○収支状況 ※収入、支出ともに前年比も含めて記す事

【収入】 45,128,023 円 [前年比：約 0.8%増 (347,932 円増)]

- ・内訳 { 指定管理料 45,006,500 円  
その他(自販機収入等) 121,523 円

【支出】 45,922,226 円 (人件費、事務費等) [前年比 約 2.7%増 (1,193,384 円増)]

【収支差額】 △794,203 円 [前年比 約△145.0% (△742,954 円)]

○施設の保守・点検、施設の修繕等の維持管理状況

※当年度で掛かった費用がある場合、記す事

【指定管理者で実施】

##### ・設備点検

建物設備巡回点検、電気設備点検（定期、年次）、空調設備（フィルター清掃）、衛生設備（高架水槽清掃、水質検査）、環境衛生（残留塩素測定）、防火設備点検（総合、機器）、昇降機設備点検（定期、年次）、建築内部点検（自動扉）、清掃（日常、床、ガラス）

##### ・その他

空調機点検（フロン法定点検）、ビジネスフォン交換工事、LED 交換工事（3 階書架及び学習室）、光回線切替工事、1 階男子トイレ暖房便座修理、館内放送設備修理、プロバイダー変更・ネットワーク設定作業、安全パトロール（設備点検）

【参考】町が修繕及び購入したもの

- ・修理なし
- ・児童図書購入 200,000 円（寄付により購入（大田原信用金庫より））

#### 9 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など）

- ・町と指定管理者は、毎月定期的に報告・検討会を開催し、情報交換するとともに問題点の改善を図っている。
- ・施設の老朽化に伴う修繕やエレベーター設置の要望があるが、施設の在り方について検討する必要がある。

#### 10 評価ランク : C

- A：非常に良好な施設の運営状況であった      D：やや課題のある施設の運営状況であった  
 B：良好な施設の運営状況であった              E：課題のある施設の運営状況であった  
 C：普通の施設の運営状況であった

令和 2 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称 那須町共同利用模範牧場
2	指定管理者 名称 株式会社 那須の農 代表取締役 岡田建史 住所 那須町大字漆塚567
3	指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）
4	施設所管課 那須町農林振興課
5	履行状況（町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等） 基本協定書、仕様書に基づき、年度ごとに事業計画を策定しており、事業実施及び施設管理等管理運営全般において、事業計画どおりに履行された。
6	利用状況、運営状況 ○延べ預託頭数については、乳用牛 98,998 頭（R1：105,647 頭）で R1 比 6,649 頭の減となり、内訳は次のとおり。 ・夏季放牧 59,018 頭（町内 35,225 頭（59.7%）、町外 23,793 頭（40.3%））（R1 比 2,081 頭減） ・冬季預託 39,980 頭（町内 29,873 頭（74.7%）、町外 10,107 頭（25.3%））（R1 比 4,568 頭減） 平成 28 年度において、吸収抑制対策事業を実施し全牧区利用可能となり、牧草畑の養生などの体制が整い次第、肉用牛の受け入れを再開する予定でしたが、本年度も近年のイノシシによる草地被害の増大により、牧草の収穫量が減少していることや試行により始まった BLV（牛白血病）陽性牛の受入れもあり、和牛の受け入れは行っておりません。今後は、令和 2 年度から令和 6 年度（5 年計画）の畜産担い手育成総合整備事業により草地整備や獣害防護柵整備などを実施し事業運営の安定を図ります。 ○運営体制については次のとおり。 ・事務処理分野では、特に問題なく円滑に運営が行われた。 ・現場作業分野においても、特に問題なく円滑な運営が行われた。
7	町民（利用者）からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価 衛生対策面でも献身的に対応し、利用者にとって良い運営ができています。今後さらに満足していただけるよう、技術向上を図る必要がある。
8	指定管理者の経理状況の評価 令和 2 年度の収支については、収入総額 61,092 千円（消費税抜額）（内訳：委託料 16,356 千円、使用料 42,174 千円、その他 2,562 千円）に対し、支出総額 57,022 千円で、4,070 千円の収益となったが、R1 比で 1,640 千円の減収となっている。 令和元年度から、試行による BLV 陽性牛の受け入れを開始したことやイノシシによる草地被害などで牧草の収穫量が減少する厳しい状況の中でも、引き続き収益を確保しており評価はよい。
9	総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など） 指定管理開始から 7 年目に入りますが、牧草の収穫量の減少や BLV 陽性牛の受け入れで厳しい状況の中でも対策を講じ、安定した体制により令和 2 年度につきましても比較的良好な運営であったかと思われる。 また、昨年と同様に預託頭数が減少しており、引き続き新規農家の獲得のための広報活動を行うとともに、BLV 陽性牛受け入れに対する理解も図っていき、さらなる技術の向上が必要である。 施設管理の面では、昭和 43 年開設以来 50 年以上が経過し、施設の老朽化による改修、修繕等の必要性が増している他、機械の老朽化が著しいことから、畜産担い手育成総合整備事業により順次対応していき、イノシシの草地被害についても、同事業により、対策を講じていく。
10	評価ランク :C A：非常に良好な施設の運営状況であった D：やや課題のある施設の運営状況であった B：良好な施設の運営状況であった E：課題のある施設の運営状況であった C：普通の施設の運営状況であった

